

【義務教育学校の開設に向けた取り組み】

育親中学校区にある現在の3小学校と中学校一つにした義務教育学校を新たに開校することに向けての住民説明会が開催され、方針が示されました。

○本梅小学校に仮校舎を設置し、令和6年4月に義務教育学校を開校する

- ・新たな学校名を、早急に決めていく
- ・前期課程（小学生）は、本梅小学校を利用
- ・後期課程（中学生）は、仮校舎を建設して利用

○現在の育親中学校地に新たな校舎を建設し、完成後に新校舎へ移転して学習を開始する

- ・令和8年3月までに新校舎を完成させる
- ・令和8年4月から新校舎での学習を始める

○義務教育学校の開学に向けて、3つの調整会を設けて積極的に進めていく

- ・新学校のコンセプト検討グループ（校名・校章等基本事項）
- ・教育・学習環境検討グループ（教育課程・教育内容、PTA）
- ・通学・施設検討グループ（通学バス、安全対策、施設充実）

これら3つの検討グループには、学校、PTAに加えて自治会からも参画してより良い学習環境づくりに一緒になって進めていきます。

【説明会で発言のあった主な意見】

○地域に根差した魅力ある学校として、全てが整ってから開校するのではなく、出来るところから早く進めて実現してください

○仮校舎期間中の学びや活動、学習環境が低下することのないよう、児童生徒に不安感を与えないようにと進めてください

○児童生徒も一緒になってつくった新しい学校と実感できる取り組み、教育を考えて欲しい

○新しい学校へ通学することとなる低学年の保護者の意見も聞いて進めていくように

○短期間に多くのことを決めて進めていくことになるが、決して教育委員会の考えのみで進めるのではなく、自治会やPTAとも議論・確認をして、協調して進めていくように